

教育委員会会議録

平成24年9月6日(木) 午前10時00分 開会

午前11時13分 閉会

1 議事日程

別紙のとおり

2 出席した委員

小池高弘委員長、平石賢二委員、加古博委員、豊島半七委員、笠松和永委員
野村道朗教育長

3 説明のため出席した職員

長崎栄一教育次長、岡田信管理部長、岩間博学習教育部長、加古三津代生涯学習監
杉浦慶一郎総合教育センター所長、杉浦章司総務課長、後藤由紀夫財務施設課長
溝口正己教職員課長、伊藤良一福利課長、森繁雄生涯学習課長
笹尾幸夫高等学校教育課長、稲垣寿義務教育課長、上田裕特別支援教育課長
長谷川勢子健康学習課長、大野芳樹体育スポーツ課長
安藤綾子教育企画室長、八木亨文化財保護室長
山本雅夫総務課主幹、伊藤泰臣教職員課主幹、山中仁教職員課主幹
齋藤典久高等学校教育課主幹、木下眞吾義務教育課主幹
黒谷厚志特別支援教育課主幹
稲葉均総務課課長補佐

4 委員長報告

なし

5 教育長報告

小池委員長が各委員に諮り、報告事項1 公立学校教員の懲戒処分については人事案件であるため、非公開にて報告を受けることとした。

(1) 公立学校教員の懲戒処分について

非公開において報告されたため、愛知県教育委員会会議規則第16条第3項の規定により、会議録は別途作成。

(2) 愛知県公立高等学校入学者選抜制度の改善に関する検討会議（第1回）の開催について

笹尾高等学校教育課長が、平成24年9月12日に開催する愛知県公立高等学校入学者選抜制度の改善に関する検討会議（第1回）について報告。

加古委員が、現行制度の課題について、事務局としてはどのように考えているのか質問。

笹尾高等学校教育課長が、群及びグループ分けの課題として、近隣に相手校

が少なく選択肢の限られた地域があることや組み合わせによって併願しにくい地域があること、1、2群共通校を設置した結果、選択肢を増やすことができた反面共通校を設置した場合に他の地域へ流出する傾向がみられる地域があること、グループ間の募集定員が地域によって大きな隔たりがあることが挙げられる。また、群及びグループ分けの課題以外にも、推薦入学における選抜方法や推薦基準のあり方、全日制課程一般入学における面接のあり方、入試日程が長期にわたることなどの課題がある旨答弁。

加古委員が、ワーキンググループをつくることについて、1つのワーキンググループで今説明された課題をすべて一括して検討するのか質問。

笹尾高等学校教育課長が、ワーキンググループについては、実際にデータ等を試行して変更した場合にどのように変わっていくのか見ようというものであり、今のところ1つを予定している。あくまでも議論については本会議の方ですすめていきたいと考えている旨答弁。

小池委員長が、何回開催していつ頃までに結論を出すのか質問。

笹尾高等学校教育課長が、課題も多く改善点についての協議がどのように進行するか分からないので、現時点では決まっていない旨答弁。

加古委員が、ある程度見通しを持って密度の濃い検討をすすめるとともに、この会議以外にも幅広く声を聞く機会をつくることも大事だと思う旨意見。

小池委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

(3) 平成25年度使用県立高等学校用教科用図書の採択結果について

笹尾高等学校教育課長が、平成25年度使用県立高等学校用教科用図書の採択結果について報告。

加古委員が、種類が少ない教科書について、研究会の中で内容としてどうなのかというような疑問が出てきたことはなかったか質問。

笹尾高等学校教育課長が、特に聞いていない旨答弁。

加古委員が、学校現場からすると教科書よりむしろ副読本のようなものの方が授業をすすめやすいという声を聞いたことがあり、教科書以外の教材に流れていかないか心配している。種類が少ない教科書については、そのようなことにも目配りをしていただきたい旨要望。

小池委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

(4) 平成25年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択結果について

稲垣義務教育課長が、平成25年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択結果について報告。

小池委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

(5) 平成25年度使用県立特別支援学校用教科用図書の採択結果について

上田特別支援教育課長が、平成25年度使用県立特別支援学校用教科用図書の採択結果について報告。

加古委員が、拡大教科書について、教科によって教科書会社が出しているものと出していないものがあるが、通常の学級でどの程度の需要があるのか把握しているか質問。

稲垣義務教育課長が、拡大教科書の一覧はあるので調べることはできる旨答弁。

加古委員が、学校現場でどの程度の需要があり、どのような対応をしているか把握して、必要があるなら国への声として上げていただきたい旨要望。

稲垣義務教育課長が、拡大教科書の状況については調査をした上で、国に対してどうするか検討していきたい旨答弁。

小池委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

(6) 第67回国民体育大会本大会への愛知県選手団の派遣について

大野体育スポーツ課長が、平成24年9月29日から岐阜県において開催される第67回国民体育大会本大会の概要及び本県選手団の派遣について報告。

笠松委員が、今回少年女子の体操と新体操については非常に期待できると思うが、その他に期待できる競技はあるか質問。

大野体育スポーツ課長が、水泳競技ではロンドンオリンピックで入賞した堀畑選手が出場し、少年ではインターハイで活躍した選手が数名出場する。その他それぞれの競技の中で期待できる選手はいるので後ほどお知らせする旨答弁。

小池委員長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

6 議題及び議事の概要

小池委員長が各委員に諮り、協議題 平成24年度教育委員会所管9月補正予算(案)については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づく事前協議であるため、非公開にて協議することとした。

第15号議案 教育に関する事務の点検・評価報告書について

安藤教育企画室長が、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書を県議会に提出し公表する必要があるため請議。

加古委員が、児童生徒への意識・実態調査の結果で、学校の授業以外に「全く勉強をしない」、「文化や芸術の体験をしていない」、「全く運動やスポーツをしない」と答えた高校生の割合の数値が大きいことについて、改善するために何か施策として取り組んでいることはあるのか質問。

安藤教育企画室長が、報告書(案)の第1章の中で「今後の改善の方向」として少し整理してあるが、たとえば高校と大学との連携強化の中で、今年度高校生に大学の学びについて少し触れてもらうようなフォーラムの開催を予定しているし、「あいちの学校連携ネット」で大学が行っている高校生向けの公開講座を検索してもらうような取組をしている。また、高校生に至るまでの取組も重要であり、小中学校において言語活動が非常に重要であることからことばの学習活性化に向けた取組や極め細やかな授業が展開できるように少人数教育の実施等を行っているところである旨答弁。

加古委員が、学習意欲が続かないとか普段の授業が生徒たちに響いていかないことが家で勉強しないことにつながっていくような気もする。高校生の実態に合わせた授業のすすめ方のような授業そのものの改善にももう少し力を入れていくこ

とが、「全く勉強をしない」割合の数値の改善につながっていくと思う旨意見。

笹尾高等学校教育課長が、専門学科等では実技等を行う実習がありそうしたものは家庭ではなかなかできないので学校に残って行う場合も多い。高校はいろいろな学校があるので、実態をもう少し詳しくみてこの数値がどうなっているのか考えていかなければならないが、平常の学習について適切に取り組み、今後この数値が少なくなるよう努めていきたい旨答弁。

加古委員が、学校の授業以外に「文化や芸術の体験をしていない」、「全く運動やスポーツをしない」ことについて、高校生段階で地域との関わりが持ちにくいという実態があり、そこを改善していかないとその割合の数値も改善していかないと。今の高校生は部活動に物理的にも気持ちの上でも相当向いていてなかなか地域に関わっていく時間がない状況であるが、もう少し地域でいろいろな形でうまく活かしてやるような文化面やスポーツ面で何か仕掛けをして、学校や地域に対する働きかけをしていただくとよいと思う旨意見。

笹尾高等学校教育課長が、アクティブチャレンジ事業の地域貢献部門で今年度7校を指定しており、それらの学校においては地域との関連を積極的に持っている。また、部活動等で地域の祭りに参加するということもみられるので、是非そのような先進的な学校の取組を他の学校にも広めるよう指導していきたい旨答弁。

笠松委員が、児童生徒への意識・実態調査の結果から、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた児童生徒の割合は中学生が最も低かったということであるが、どのような理由が考えられるか質問。

稲垣義務教育課長が、小学生と中学生を比べたときに、小学生の頃は道徳的な部分については教え込まれていて、いじめはいけないものだという認識で育ってくるが、中学生になると自我の目覚めや思春期という中で外界の状況を認識しながらいろいろな考えをめぐらす時期があり、結果として「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた肯定的な回答としては大きな差はないが、強く「当てはまる」という割合が下がるのではないかと推測している。それが高校生になると自分の価値観や外界と折り合いをつけた中で物事ははっきりと判断できるようになり、また上がるのではないかと考えている旨答弁。

加古委員が、ここで否定的な回答をしたからいじめをする心配があるということとは決してなく、肯定的な回答をした子どもでもいじめをする心配はあるということも踏まえておかなければならないと思う旨意見。

小池委員長が各委員に諮り、全会一致により原案どおり可決された。

第16号議案 平成25年度教職員定期人事異動方針について

溝口教職員課長が、平成25年度公立学校教職員定期人事異動を行うに当たって、その基本方針を定めるため請議。

豊島委員が、今年度の方針と変更した点はないか質問。

溝口教職員課長が、内容的にはすべてが網羅されていると考えており、今年度の方針から変更はしていない旨答弁。

小池委員長が各委員に諮り、全会一致により原案どおり可決された。

協議題 平成24年度教育委員会所管9月補正予算（案）について

非公開にて協議されたため、愛知県教育委員会会議規則第16条第3項の規定により、会議録は別途作成。

7 通信及び請願

なし

8 自由討議

なし

9 その他

傍聴人 1名